

第4学年社会科（プログラミング教育）学習指導案

1 単元名 地域で受けつがれてきたもの

2 使用ツール Scratch

3 単元のねらい

地域の伝統と文化について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。

地域の伝統と文化の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けてしゃかいへの関わり方を洗濯・判断する力、考えたことや洗濯したことを表現する力を養う。

地域の伝統と文化について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

4 指導計画（全13時間）

つかむ	1 日本の文化財や行事について知る 2 県の文化財や年中行事について知る
調べる	3 さがそう、昔から受け継がれてきたもの 4 曾於市（弥五郎どんまつり） 5 県の文化財や年中行事 6 受け継がれる伝統行事を調べる 7 伝統行事と人々の取り組み
まとめる	8 まとめる
広げる	9 郷土の文化財や年中行事， 伝統文化（3／3）

5 プログラミング教育に関して

各地域で「文化財や年中行事， 伝統文化の発展につくしてきた人がおり、先人の働きや願いを白地図にまとめる。ここでプログラミングソフトのスクラッチを用いることで、プログラミングによって分かりやすく効果的な資料を作成することを通して分かったことや考えたことなどを的確に発表する力を育むことができる。

まず、ワークシートを使い曾於市の発展につくした先人について町ごとに調べる。次にスクラッチでは文字数に限りがあるため先人の働きやそれに対する自分の考えを短く効果的に伝えられるようにまとめていく。スクラッチを使って白地図に取り入れて表示していくことを通して町ごとに分類され視覚的にも効果的に文化財や年中行事， 伝統文化の働きや自分たちの思いをまとめ伝えることができる。

6 本時（13 / 13）

(1) ねらい

- ・ 県や曾於市の文化財や年中行事に関心をもち、先人の努力によって発展してきた地域に誇りや愛情をもつことができる。
- ・ 県や曾於市の文化財や年中行事について資料を活用し、調べたことを白地図にまとめる。
- ・ プログラミングを通して県や曾於市の文化財や年中行事等における人々の努力を知り、働きを理解する。

(2) 実際

過程	時間	主な学習活動	指導上の留意点
つかむ見通す	3分	1 学習のめあてを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">県内の文化財や年中行事はどのようにして受けつがれてきたのだろうか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに文化財や年中行事についてまとめておく。(プリント) ・前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認し、意欲を持たせる。
		2 学習の進め方を確かめる。 ・前時までにすませた児童の作品を見る。	
まとめる	3分 25分	3 県内の文化財や年中行事についてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スクラッチを使って、県内・曾於市の文化財や年中行事について入力していく。 ・できた喜びを共有する。
振り返る	12分 2分	4 本時でできたことを発表し合う。 5 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさや友だちのよさに目を向け次時の見通しをもつ。